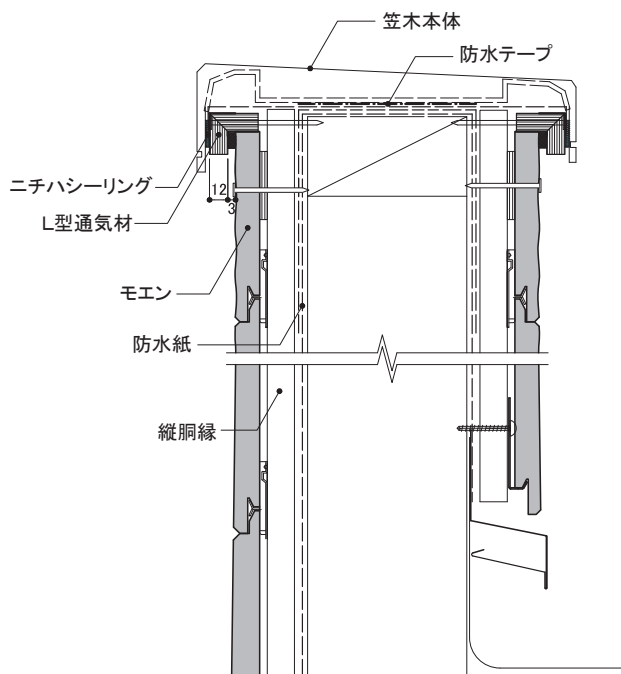


1-23 各部の基本納まり図

14) 笠木部

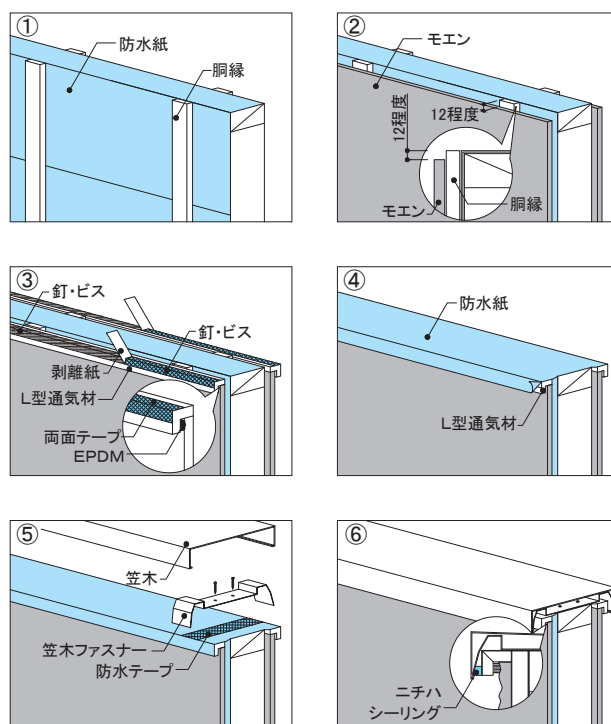
③ L型通気材

- 防水紙、胴縁を施工します。
- モエンを施工します。この際、L型通気材取り付けのために、モエンは胴縁上端より12mm程度下がった位置を上端として施工します。
- L型通気材を施工します。L型通気材は釘またはビスで500mm以下の間隔で留め付けてください(2ヶ所以上/本)。
L型通気材はEPDMをモエン表面に押し付けるようにして施工します。
L型通気材どうしの接合部は、突き付けた後、両面防水テープで固定します。
L型通気材を留め付け後、L型通気材外側に付いている両面テープの剥離紙を剥がします。
- 防水紙をL型通気材の上に巻き、L型通気材に付いている両面テープで固定します。
- 笠木ファスナー取り付け部へ防水テープを捨て貼りし、笠木を取り付けます。
- 笠木とL型通気材の取り合いをシーリング処理します。
- 笠木有効幅の選定は、L型通気材の厚み12mmを考慮してください。



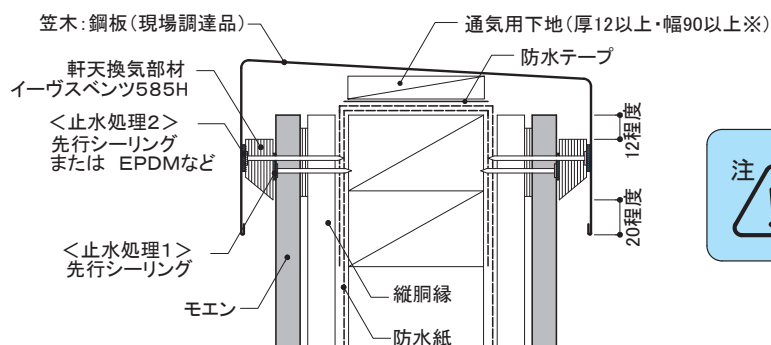
16mm厚品：横張り金具施工例

施工手順



④ イーブスベンツ585H

- 止水処理1は、先行シーリングとし、モエン柄溝部分にも十分に充填します。
 - 止水処理2は、先行シーリングまたはEPDMなどとし、空き寸法に合わせて隙間がないよう施工します。
- ※通気用下地は長さ2m以下ごとに30mm以上の隙間を設けます。



16mm厚品：横張り金具施工例



注意 既製アルミ笠木などは、笠木内部形状が一定でないため十分な止水処理が困難であり、かぶせ高さなども不足するため、施工不可となりますのでご注意ください。